

関節内注射時の留意点

— 感染防止のためのポイント —

関節内注射は罹患部に薬剤を直接注射する治療法ですが、最も危惧されるリスクとして関節内の感染があげられます。関節内注射を実施する上で、遵守していただきたい感染防止のポイントを紹介します。

ヒアルトール関節注25mg・ヒュースレン関節注ディスポ25mgは関節内に注射する薬剤であり、厳重な無菌的操作のもとに行う必要があります。

- ① 注射準備(滅菌済包装袋あるいはアンプルの開封から注射まで)は注射の直前に行ってください。作り置きは感染のリスクを高めますので避けてください。
- ② アンプルから注射筒へ吸引する際やルアー部へ注射針を装着する際には衛生的手洗い*を十分に行い、できれば滅菌手袋等を使用した上で、衛生的環境下で操作する必要があります。
*衛生的手洗いとは
速乾性消毒薬(15秒以内に乾燥しない量)を両手、両手首に擦りこみ、乾燥するまでよく擦り込む手洗い法、または薬用石けんまたは消毒薬などで30秒以上洗った後、流水で洗い流し、ペーパータオル等で拭く手洗い法です。
- ③ 注射部位はポビドンヨード等で広く十分に消毒し、塗布後1分以上経過してから注射してください。感染防止の観点から、注射部位になるべく触れることなく、術者の指も消毒するか、滅菌手袋の着用をお勧めします。注射後は刺入部を滅菌された絆創膏や滅菌ガーゼ等で被い衛生的に保ってください。
- ④ ヒュースレン関節注ディスポ25mgはプレフィルドシリンジタイプで、アンプルから注射筒への吸引時の汚染リスクを低減させた製品です。他の薬剤を混注する等の行為は汚染リスクを高めますので避けてください。

監修: 日本大学医学部 整形外科 教授 龍 順之助 先生



東和薬品株式会社
大阪府門真市新橋町2番11号

2008年12月作成